

令和5年度第1学期終業式

夏休みが終わりました。1学期の終業式でお話した心の「たい」に出会いましたか。校長先生がみなさんに伝えたいこと、夏休みにがんばったことは読書です。24冊の本を読みました。なぜ読書をごんばったかという、みなさんの夏休みの宿題に「読書」があったからです。何か同じことをごんばりたいと思いました。

校長先生が読んだ本は、みなさんでも読める児童向けの本から、小説や仕事に関連する専門的な本までさまざまです。T先生やS先生、校長先生の友達に紹介してもらった本、読んでいる本の中で出会った本、いろいろなきっかけで読み始めました。これまでたくさん本を読んできましたが、特に大人になってから、一度読んだ本をまた買ってしまうという失敗を何回もしています。たいていの場合、本は読んだら読みっぱなしだったからです。そういう失敗をしないように読書記録に、タイトルだけでなく、心に残った文や内容、コメントを記録するようにしました。そうするだけでも読んだ内容が頭の中に残るようになりました。

読書をするといいいことがあります。自分では体験できないことやいろいろな立場の人の気持ちや考えを知ることができます。自分だけでは限界のあることも、読書を通せばできることが増えます。自分が知ったことを友達などと話せば、さらに世界が広がります。本との対話、友達などとの対話を通して知識が広がったり深まったりします。

少し難しくなってきたので、リンゴに例えてみます。ここに赤いリンゴと青いリンゴがあって、みなさんは赤いリンゴ、校長先生は青いリンゴをもらったとします。このままだと、みなさんは赤いリンゴ、校長先生は青いリンゴの味しか分かりません。でも、少し切って交換して食べたらどうでしょう。両方の味が分かりますね。それぞれのいいところや悪いところ、同じことや違うことに気が付きます。

学び方にはいろいろあります。失敗を通して気付くこともあります。読書を通して学ぶことがあります。友達や先生などの話を聞いたり、自分の思いや考えを伝えたりすることで、一人では限られる学びに広がりが生まれます。

今日から2学期がスタートします。先生や友達と一緒に楽しみながらたくさん学んでほしいと思います。